

命の大切さを知る一性教育講演会を通して一

11月16日(月)、「思春期性教育講演会及び第1回学校保健安全委員会」を実施しました。講師として龍ヶ崎済生会病院産婦人科医師の陳 央仁(チン オウジン)先生をお招きいたしました。この講演会の目的は、「命の大切さや自分がかけがえのない存在であることをあらためて認識させる」ことです。毎年、2年生を対象に継続的に実施しています。令和2年度はPTA保健厚生委員の方々にも参加していただき、学校保健安全委員会を兼ねた形での実施となりました。参加した2年生は、陳先生の講演に真剣に耳を傾け、自他の命のかけがえのなさについて認識を新たにすることができたようです。以下、生徒の感想を紹介いたします。

私は今日の講演を聞くまで、性について知っているつもりでした。でも、全然そんなことはありませんでした。まず、性には「自分+いのち」の大切さという意味があると知り驚きました。

私には弟がいます。とてもやんちゃで、きかんぼうで、正直手がかかります。嫌いですが、でも、どんな子も人も、いのちの戦いを必死に頑張っ乗り越え産まれてきた戦士なんだと、今日改めて知ることができました。だから、愛してあげなくちゃいけないという気持ちになりました。(中略)

そして、最後に、この講演会を通して、最も心に残ったことは、「産まれてくる子どもは、愛する母に会うために一生懸命頑張っ産まれてくる」ということです。妊娠は奇跡です。陳先生は、そんな現場で子と母と一緒に戦っいらっしやるんですよね。すごく尊敬します。今日の講演会で学んだことを家に持ち帰り、母や父に伝えたいです。そして、私が歩いていくこれからの未来に生かしていきたいと思います。今日はありがとうございました。



第2学年校外学習

中止となった「船中泊を伴う自然教室」に代わる第2学年の遠足的行事として、11月25日(水)に「起笑点結〜今年1番のBest memoriesへ〜」をスローガンに掲げ、校外学習を実施します。2年生にとって良い思い出づくりの機会になることを願っています。以下、概略についてお知らせします。

方面： 福島県いわき市
活動場所： いわき市石炭・化石館ほるる
アクアマリンふくしま
学校着予定： 17:00



私の中学校時代

第2学年主任 遠藤 龍郎

私は中学校の入学式で聞いた吹奏楽部の演奏がきっかけで吹奏楽部に入りました。当時私の通っていた中学校はかなりおおらかで、放課後の部活動が月・水・金しかありませんでした。それ以外は自由に練習していました。また、土日に部活動をやった記憶はありません。顧問の先生が「毎日合奏したら全国大会はもちろん、世界大会に出場できる」と言っていたのを覚えています。夏休みにはコンクールがあるので、その2週間ほど前になると、久慈川沿いで4泊5日の合宿をしました。1部屋しかなかったので、50人近くが合奏や食事、寝るのもすべてその部屋で行いました。この吹奏楽部で音楽と、人と人とのつながり、人としてどう生きるかなどを全て学んだ気がします。

